

まちづくり活動では、生協間連携や地域とのつながりを大切にすすめています。
今回は連携して取り組んだ3つの事例紹介と、東京都生協連からのお知らせです。

足立区まちづくり 防災・減災で地域と協働しよう～誰一人取り残さない防災まちづくりを学ぶ



加藤勉さん

1月15日(水)、パルシステム東京パルひろば足立およびオンラインを使って、荒川流域防災住民ネットワーク運営委員長の加藤勉さんから、ネットワークを立ち上げた背景、これまでの活動、これから目指すところのお話を伺いました。水害を流域で考えるためには流域住民が共通意識を持つことが必要と、集いを板橋区、北区、荒川区の順に開催してきて、今年は足立区で開催します。集いの開催後には、災害時の共助のネットワークが始まる区があるなど、防災に向けて効果があったそうです。

足立区の集いの準備会に参加しているメンバーからは、すでに女性防災士、女団連、看護師、地域関係者などが参加していて、様々な団体が入るほど色々なことができるので、ぜひ実行委員会へ参加してほしいと呼びかけがありました。感想では、生協で防災まちあるきを計画したい、実行委員会に参加してみたい、防災計画と医療の関りを考えたいなどがあり、足立区での集いの開催に期待がふくらみました。

コープみらい・パルシステム東京・東都生協・東京ほくと医療生協・東京ふれあい医療生協



北多摩中央医療生協 地域でつながりづくり～子ども食堂開催日に支援協力～



三鷹にある北多摩中央医療生協みなみうら生協診療所の近くに、「呑気(のんき)子ども食堂」が2024年12月にオープンしました。普段は居酒屋を営業していますが、店舗が狭く、訪れる子どもたちが待つ場所がないのが悩みだということを知り、みなみうら生協診療所2階を開放することにしました。2月16日(日)は3回目の開放日、親子連れや中学生など、たくさんの方が入店待ちや、食事を終えた後のひとときを過ごしにやってきました。待ってる人同士で遊んだり、交流したり、子どもの成長や学習の悩みなど様々な生活相談もでき、アドバイスが得られる場所として好評だそうです。食事が終わったあとのお楽しみとして、今回はボランティアスタッフが用意してくれたクッキーにチョコなどをデコレーションして楽しんでいました。小さな店舗でも、子ども食堂を開くことができるようになった北多摩中央医療生協の協力は、大きな支援となっています。



パルシステム東京・城南保健生協 城南保健生協の健康チェック、大好評でした！

2月1日(土)、パルシステム東京の「城南しおみエリアまつり」が大田センターで開催され、551人の来場があり、生産者と組合員や地域の方が交流し大盛況でした。品川区まちづくりのつながりから、城南保健生協がブース出展し、血圧、体脂肪、握力測定など71名の健康チェックを行い、とくに握力測定が大好評で、みなさん楽しんで参加してくださいました。品川区まちづくりでは、生協同士の連携した活動を模索しながら推進し、城南保健生協のまつりへの協力についても、定例会での情報交換や交流により進めることができました。また、パルシステム東京の組合員にも「品川区まちづくり“しなが輪”」の活動や、医療生協との連携など、具体的に知ってもらえる機会にもなりました。これからも地域に役立つように活動の幅を広げ、連携を進めていきます。



東京都生協連 「まちづくり・地域活動交流のつどい」第2弾チラシを配信中！！

2025年3月5日(水)13時～16時懇親会(カフェタイム)16時10分～
前回ご案内した学習講演の他にも、担い手探し・つながり方のヒントになる事例報告、様々な団体と直接話せる交流タイム、軽食や飲み物を片手に、気軽におしゃべりするカフェタイムなど、盛りだくさんのプログラムで1日お楽しみください。

お問合せ:machi@coop-toren.or.jp

会場:東京都生協連会館3階 会議室
住所:中野区中央5-41-18
(JR・東西線中野駅南口より徒歩7分)



ご自宅に未使用の文房具はありますか？

スタディドライブは、子どもの学習支援として、未使用の文房具の寄付を呼びかけ、必要とされている子どもたちに届ける取り組みです。今回は、小学校低学年を対象にした文房具をお寄せください。



東京都生協連会館3階事務所前
2025年3月4日から3月18日

まちづくり関連HPIはこちら▶

編集発行：東京都生活協同組合連合会

